

頑張れ管理職 No.1 目次



要旨

医療介護の関係者は、地域連携体制からは逃げられません。どうせ取り組むならば、前向きに取り組み、多くの関係者が絡んだ連携業務構築を通じて、自ら人間として成長して、第二の人生を納得して過ごせるように、頑張れ管理職を制作して支援していくことについて解説しています。

頑張れ管理職との目的と4本の柱 [00.20~02.54]

頑張れ管理職の目的は、新たな地域連携体制を、病棟看護職、薬剤師、事務等の管理者、そして、経営管理者が協同して構築していくことを支援するためです。

今回創る新たな地域連携の職場と現在の職場と全く違う点は、地域連携で関係する様々な職種が、協同して創らなければならない点です。ですから、働きやすさと働き甲斐を重視した職場にしなくてはならないのです。

新たな地域連携体制が安定稼働するまでに10年かかる [02.55~05.15]

- 30代から60代の各部署の職員が積極的に新たな職場創りに取り組む

取り組む姿勢で精神的な負担が違う [05.16~07.15]

- 同じ重さの荷物でも、他人の荷物だと重く感じ、自分の荷物ならば他人の荷物ほどは、重く感じないという考え方で、連携体制を構築していくことについて

原因と結果の法則を地域連携構築に活用 [07.16~09.44]

- 原因と結果の法則について
- 認知症ケアにこの法則を活用して、一歩踏み込んだ認知症ケアの実践について

連携に必要な良好な人間関係の構築について [09.45~17.14]

- 地域連携で目指す「良好な人間関係」は「和して同じ人間関係」
- わがまま生き方ではなく、素直な生き方によって、お互いが理解できる人間関係が構築できる

自分らしく生きるために [17.15~19.50]

- 最期に「自分らしく生きた」と言えるためには、どのような生き方をしていくのか
- 過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる